



落ち着いて休めるようにシックな色合いでまとめられたツインのベッドルーム。



ホテルのスイートルームのような高級感漂うリビングダイニングキッチン。リビングとつながる和室もあり、ゆったりとくつろげる。



地下鉄北四番丁駅から徒歩3分。仙台駅や仙台宮城ICからもアクセス至便な好立地。



セレモニー終了後は、ホールを会場としてセッティング。移動の手間がなく、和やかに食事をしながら故人を偲ぶことができる。



尽きぬ想いをかたちにかえて
こころをつなぐ家族葬

コロナ禍を経た今、家族葬のニーズが加速度的に高まっています。『仙台迎賓館 斎苑』の家族葬ホールはアクセスの良さに加えて品格漂う会場設備、そして自由度の高さで選ばれています。

最後の時間を家族でゆっくり
完全貸切のプライベート空間

仙台市内中心部にありながら市外からのアクセスも良く、「清月記」随一の品格と充実した設備を誇るのが「仙台迎賓館 斎苑」です。数名から1000人規模まで大小五つのホールを備えた本館・別館、1日1組限定の「家族葬ホール」、昨年オープン、火葬をメインとする安置専門施設「密葬館」があり、希望に合った会場を選ぶことができます。

「コロナ禍以降は、より規模を縮小したかたちの家族葬が選ばれており、事前相談に来られる方も増えています。これまでの葬儀は、家族に迷惑をかけるように準備しておきたい、エンディングノートのような想いを伝えられるものを残しておきたいという方が増えています」と話すのは、清月記葬祭事業部次長・一級葬祭ディレクター吉田健一さん。別れさままならなかったコロナ禍を経験し、最後の別れの時間を大切にしたいと家族葬を選ぶ人が増えているといいます。

「家族葬ホール」は宗教的な儀礼から無宗教形式のお別れ会まで、自由なセレモニーを叶えられます。完全貸切なので周りに気兼ねすることなく、故人と向き合えると好評です。

そして今、注目を集めているのが「エンディング」です。これはご遺体に殺菌・防腐処置、修復を施し、処置後1〜2

カ月間、衛生的に保全できる技術です。葬儀を急ぐ必要がないため時間的なゆとりが生まれ、海外からの参列も可能になります。また元気な頃の姿に近づけることができるため、故人の尊厳を守りつつ穏やかに見送ることができます。

家族との別れは、訪れるか分からない。だからこそ、送る側・送られる側の間で葬儀への考えを共有しておくことが大切です。清月記では、不安や心配を解消する事前相談を受付中です。まずは、「葬儀を知る」ことから始めてみてはいかがでしょうか。

仙台迎賓館 斎苑 家族葬ホール

仙台市青葉区木町通2-2-14 www.seigetsuki.co.jp

☎0800-888-5777 毎日見学可能 無料相談 随時受付中

スガワラホールディングス

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777

